平成 22 年 9 月 30 日

かわら版あんず

第 43 号

発行責任者　福地 季子
〒317-0056　日立市白銀町 2-17-1
TEL. 0294-21-4150

最多のにぎわい夏祭り

昨年に引き続きバーベキュー大会に参加させていただきました。今年は昨年よりもさらに多くの参加者が集まり、大盛況となりました。普段顔を合わせている学習者さんのご友人やご家族にもお会いすることができました。「いつも家内がお世話になっています」「いいえ、こちらこそ」という会話を外国人とするとは、お互い日本語教室に参加していなければなかなか無いシチュエーションではないでしょうか。日本語を教えることを通して出会いが広がっていくのが実感でき、なんだか嬉しかったです。

いざ食材を焼き始めると、昨年と同様私の出番はありませんでした。男性陣も女性陣も手際が良い！火を起こしや料理に国境は無いのだなぁなんてチームワークの良さに感心しながら、悠長におしゃべりをしてピーマンを切っているうちに、すっかり調理が完了していました。どこのテーブルも、食事に会話に大いに盛り上がっていました。

また、当日は雨が降りそうな天気だったのですが、すいか割りやゲームを行うことができました。夏の初めに楽しいとびっきり思い出ができました。参加できて本当によかったです。

鈴木　麻由

仲良く調理中

楽しく食事中

綿あめ作り名人

飛白書(木のへらで絵や文字を書く)

ジャンケンゲーム

輪投げゲーム

恒例のスイカ割

全員集合“150 名以上集まりました”

夏祭り当日、週刊茨城朝日の取材を受け、中国の高衛民さんとペルーのモントーヤ・アリーナさんが取材にこたえていました。

（2）　2010年(平成22年)　7月21日　(水曜日)　週刊 茨城朝日　info@ibaraki-asahi.com　第1397号

地域の話題

日立　日本の遊びを満喫　国際色豊かな夏祭り

日立市会瀬町の会瀬青少年の家でこのほど、外国人向けに日本語や料理、生け花教室などを開いている国際交流団体・フレンドリーあんずが主催する夏祭りが開かれた。

祭りにはフィリピンや中国、ペルー、インドネシアなどの子供から大人まで162人が参加。日本人メンバーらとバーベキューや輪投げ、ジャンケンゲーム、スイカ割りなどを楽しんだ。

茨城大学工学部大学院2年に在籍する高衛民さん(28)は、中国・南京から1年半前に来日。同団体の教室で日本語を学んだ。「夏祭りはコミュニケーションを取ったり、日本語の練習をするいい機会」と流ちょうな日本語で答える。日立に住んで20年になるペルー出身のモントヤ・アリーナさん(44)は、ペルーの踊りや料理を教えることも。「山や海が近くにあって、とても住みやすい町」と日立を気に入っている。

同団体の会長・福地季子さん(63)は「外国人同士の情報交換の場にもなっているようです。日本や日立に親近感を持ってもらうきっかけになれば。会員も募集中です」と話す。年会費1500円。☎0294(21)4150　福地

笑顔で輪投げに興じる外国人参加者

「右、右、もっと前！」スイカ割りは大盛り上がり

総会盛会に終わる－5月9日

女性センターにてH22年度の総会が開催されました。昨年同様の活動を継続していくことを確認した総会の後、飯田さんよりJAICAシニアボランティアで指導に行ったシリアについてお話をしていただきました。シリアは、よく知らない人が多く皆、興味深く聞いていました。シリアの国情から宗教、シリア人の気質、世界遺産を中心に観光地等、丁寧に話していただきました。

シリアはイスラム教徒が多く、中東の状況からして、私は、シリア人の気質で、“親切さ”、“人懐っこさ”、“律義さ”の説明があったときは、意外に感じました。

半田 善久

食と会話をたのしむＥＴ会

あんず日本語教室の生徒を対象に、お惣菜教室を開いて来ました。これは日常的な食生活として惣菜作りを習う事によって、単に作り方を学ぶだけでなく、会話の訓練にもなり、併せて日本の文化・習慣をも学ぶ機会となっています。更にはお互いのお国柄を知り合い、緩やかで肩肘を張らない文化交流、相互理解の場になっています。

食を通じての活動として、あんず惣菜教室を「食と会話をたのしむＥＴ(Ｅ：食べる、Ｔ：話す)会」と名付け、新活動を始めました。

今年度の予定は、5月：茶話会、6月：手まり寿司、9月：そば打ち、10月：リンゴ狩りといも煮会、1月：生徒の母国料理、3月：すき焼きです。大いにＥＴしましょう！

幹事（鈴木）（横澤）（安藤）

「楽しい学習会」

7月6日に楽しい学習会を開催しました。楽しい学習会は、いつもの教科書を使っての学習ではなく、レベルを問わず全員で楽しく日本語を使い学習をするということを目的として企画させていただきました。

私がなぜ、このような企画を提案したかと言うと一個人の意見としてティータイムなどの時、特にあまり日本語ができない人や異なる国同士の人たち、それから他クラスの学習者と指導者のコミュニケーションが取りにくいと感じたからです。そこで、レベル・国・担当指導者の枠を超えて学習できればと思いました。活動学習ではゲームをするとは言え、あくまでも学習なので、日本語・日本文化を取り入れながらと考えていました。

そこで、今回行なったものは安藤さんの魚・鳥・木と文字探しゲームです。自己紹介から始まり、魚・鳥・木を４つのグループごとに行いました。私は、ずっとレベルに関係なくできるゲームをと思いなやみ“文字探しゲーム”を考えました。４つのグループ対抗で、出題された問題の文字をそれぞれのグループの色のひらがな文字カードを探し取ってくるというゲームです。最初は、学習者に受け入れてもらえるだろうかと不安でした。しかし、実際行なってみると学習者が夢中になってカードを取りに行ったり、お題の催促があり思いのほか学習者が真剣に取り組んでくれたので嬉しかったです。反面、課題もたくさん残りました。今回問題として夏をテーマにした物を考えましたが、語彙の説明ができませんでした。そのほか、レベルや時間配分・費用の面などこれから続けるには考慮すべき点がたくさんあります。

このように、私たち日本語ボランティアとしてこれからもたくさんの事を提案し続けられたら良いと思います。時には失敗もありますし、一人ではとても無理です。指導をされている皆さんも日頃指導しながら気付く事や、指導に関するアイディアをお持ちだと思います。

今回の私の提案にも賛否あるかもしれません。しかし、それでいいと思います。むしろ、もっと皆さんとは意見交換できればと思っています。そういうアイディアを出し合いながら、これからも日本で生活する外国人の方に日本に来て良かったと感じてもらえるようなフレンドリーあんずであってほしいと思います。

指導者の皆さん、この機会に「どんなことをしたら学習者が喜ぶだろうか・・・」「日本語教室をこうしたらいい」などを考えてみてください。きっとそれぞれ違う意見が出てくると思います。私は、それを考えることこそがよりよい日本語教室になる第一歩だと思っています。

田子森　利恵

茨城アジア２５周年記念講演会開かれる

６月 27 日　コンドゥアン女史の講演会が開催されました。
女史はラオス国立図書館長を 20 年余り勤められ「支える会」のラオスでの活動の助言者です。会場は土浦でしたが「フレンドリーあんず」からは９名の会員が参加しました。
話は主に教育の現状について数字を挙げ詳しく説明し、現政権が「良い国にするためにはよい子どもを育てよう」と少数民族にも配慮し　国を挙げて幼稚園や小学校の教育に力を入れていること、また子供の心理に沿った指導法や幼児教育の大切さなど教えて頂いたことはすべて役にたっていて感謝していると述べました。
最後にラオスの歌と 3000 年の歴史があるという伝統楽器ケーンの演奏を披露して下さいました。そののびやかな旋律にラオスの人々の穏やかな暮らしや女史の飾らない人柄が感じられました。

福地 季子

「アフガニスタンの子供たちに笑顔を」

目頃からテレビや新聞の報道でアフガニスタンについて耳にしていたが、それほど深く考えたことはなかった。しかし、7月24日の講演はアフガニスタンへの理解を深め、しいては人間の命の重みを考えさせられる機会の一つとなった。

アフガニスタン人医師のアマディヤール・アックパールさんは、ＤＶＤやたくさんの写真、グラフなどの資料を使って、アフガニスタンの現状や実践されている活動内容などを流暢な日本語でわかりやすく伝えてくれた。

アフガニスタンの歴史を開き、近年、絶え間ない戦争に脅かされていることを改めて知った。そして、その中で一番犠牲になるのは子供たちであることを知り、心が痛んだ。わたしは、戦争を知らない世代である。しかし、わたしたち大人が平和の尊さを伝えていかなければとしみじみと思った。

アフガニスタンでは、栄養失調の子供が50%いるという。また、病気になっても病院に行けないという現状がある。　そんな中でアマディヤールさんは診療所を作り祖国のためにがんばっている。そんな姿に敬服する。

最後のメッセージの中の「人間の命の価値は同じ」という言葉が強く心に残った。

黒澤 たい子

平成 22 年度第１回国際交流・協力ネットワーク会議

６月 29 日、水戸県庁に隣接する茨城県開発公社ビル大会議室で、平成 22 年度第１回国際交流協力ネットワーク会議が開催されました。開催目的は、研修と各組織間の相互連携、情報交換をはかる、というもので、県内の５９団体、１４３名が参加しました。

午前の部は、研修として、拓殖大学国際学部、長坂教授の「欧州にみる多文化共生と市民活動」と題する講演がありました。内容は、民主主義の変革にかかわるもので、先ず第２次世界大戦前の民主主義は、１セクター（政府）モデル民主主義で国家独裁となり失敗、戦後の民主主義は２セクター（政府と企業）モデル民主主義で、政府と企業の癒着により赤字が拡大し失敗、そこで登場したのが、２１世紀の民主主義改革モデルでオランダモデル又はセクターモデル（政府、企業、市民、社会）と呼ばれ、全ての合意に市民社会（NGO、NPO）が参加し３者合意のもと進められる、というもので実現までには更に時間がかかるとのおはなしで興味深いものがありました。

午後の部は、３分科会に別れて行なわれました。第２分科会は、市町村の国際交流会ネットワーク会議で、３９団体、３８名が参加しました。先ず結城市より「外国人のための無料生活オリエンテーション事業」に関する事例発表があり、続いて市町村協会活動についての情報交換がおこなわれました。各市町村の悩みの１つは、外国人居住者への情報伝達で、「日本語クラスを通じて口こみで」等の事例が報告されました。

大久保　和朗

日本語教室の今

日本語教室をはじめて

鴨志田 純沙

早いもので、フレンドリーあんずで活動して約 4 か月が経とうとしています。私が参加させていただいている金曜日のクラスは、とてもアットホームな雰囲気のクラスです。気さくに話しかけてくれる先生や学習者の方々のおかげで、とても楽しくやらせていただいています。毎回、授業では新しい発見が沢山あります。今まで、きちんと理解して使っていると思っていた日本語ですが、学習者の思いもよらない質問によって改めて日本語というものを考えさせられました。そういった発見が新鮮でとても楽しいです。また、学習者の方々とのお話からも、とてもいい刺激をもらっています。彼らの様々なバックグラウンドを知ることによって、自分自身の世界観が広がったと思います。これからも、もっともっと日本語について勉強をして、わかりやすく日本語を教えられるように頑張っていこうと思います。そして学習者の方々がもっと日本の事を好きになってくれたら嬉しいです。

初めてクラスをもって

小島 絵梨

『センセイ、ニホンゴ、オネガイシマス。』
私が初めてクラスをもち、一人で先生として教えることになったときに聞いた、学習者の言葉である。
日本語学歴がほとんどゼロの彼らに、私が教師となって、教えていく。
一体私という存在は、どれほどの影響力を及ぼすだろうか、と考えさせられることとなった。

私が日本語教員という職業を知るきっかけとなったのは、大学に入って私の専攻した学科で取得できる資格の中の一つに、日本語教員があったという単純なものである。
元より、国際交流・文化交流が好きな私は、もちろんこれに興味をもち、「どうせ資格を取るなら主専攻を」と思い、さまざまな日本語教育に関する授業を取り始めたのだが、実際、机上で学ぶことも日本語教育の基盤となるものを学ぶことができ、学ぶこと一つ一つが新しいことで、とても興味深いものである。

そして今年からフレンドリーあんずの日本語教室で、実習生としてお世話になり始めたのだが、現場を見た私にとっては、わくわくさせることばかりで、様々な国の人々との交流を深められつつ、自分の欲する日本語教育を学ぶことができるとは、とても貴重な経験となっている。

「大学では学生」としての自分と、「あんずでは実習生」としての自分、そして「学習者の前では先生」である自分であるが故に、様々な場で、色々な角度や視点から日本語教育を見ることができて、毎週とても楽しい。

この恵まれた環境の中、これからも残りわずか半年間ではあるが、このあんずでの日本語教育十種で、さらに充実した学びを通して、成長していきたいと思う。どうぞよろしくお願い致します。

広報活動

1．FM 日立「おなじみさん」（インタビュー番組）に 6 月 21 日　17：14 から 12 分高坂さんが出演しました。
2．日立ふれあい情報マガジン「ひたっち」7 月号に広告掲載

あしあと

※ 総会
- フレンドリーあんず　5/9
- 「茨城アジア・教育基金」を支える会　5/15
- 日立ボランティアグループ連絡会　5/21
- 日立国際交流協議会　5/27

※ 茨城アジア２５周年記念講演会　6/27
※ 国際交流ネットワーク会議　6/29
※ フレンドリーあんず夏祭り　7/11
※ 日立市ボランティア連絡会交流会　8 /18
※ 平和展　講演会　7/24
「アフガニスタンの子供たちに笑顔を」
※ お惣菜料理教室　（茶話会）　5/17
（てまりずし）　7/26
（そばうち）　9/11
※ いけばなクラブ　7/7

お知らせと今後の予定
- 女性センター祭り　10/16,17
（女性センター）
- 男女共同参画をすすめるつどい　10/30
- 国際文化祭り 2010　11/13
シビックセンター
- フレンドリーあんず年忘れ会　12/12
（会瀬交流センター）

編集後記

酷暑の夏を乗り切りむかえた秋、ゆっくりとか、わら版あんずを楽しみください。